

(4) 支援を行う者・機関等

支援を行う者・機関等については、一人一人の具体的な支援の内容に対応して明らかにする。保護者を含め、支援を行う者・関係機関等と、その役割について、その支援の内容を念頭に置き明確にする必要がある。

(5) 評価・改訂・引き継ぎ

実施した支援の評価と、それを踏まえた改訂内容と引き継ぎ事項を記入する。
 なお、乳幼児期から学校卒業後までを通じて一貫した的確な支援を行うために、支援を行う者・機関等について、計画の引き継ぎの体制を明確にする必要がある。

※「個別の教育支援計画」の例

個別の教育支援計画			
		記入者 ○○養護学校 ○○○○ 記入年月日 平成18年3月8日	
所属学校	学 級	氏 名	ふりがな
○○養護学校	小学部1年
支援目標 ・小学部3年までに排泄の自立を目指す。 ・学校生活に慣れて、みんなと一緒に学習に取り組むことができるようにする。			
具体的な支援	家庭生活	支援機関 支援者 家庭 父母 ・7:00、10:00、13:00、15:00、夕食後、入浴後、就寝前にトイレに誘う。トイレで排泄ができればほめる。 ・朝7時に起こし、学校の始業時間前に登校できるように車で送る。	結果・引継 ・毎日実施<継続> ・毎日実施<継続>
	余暇・地域生活	○○施設 地域生活支援コーディネーター ○○○○ ・排泄自立に向けた情報提供	・ショートステイ時のトイレ誘導と成功時の称賛、保護者への説明(誘導時刻:10:00、13:00) ・夏休休業中ショートステイ11回実施 誘導・説明共に毎回実施<継続> ・支援会議にて情報提供(1回)<継続>
		△△施設 地域生活支援コーディネーター △△△ ・排泄自立に向けた情報提供	・ショートステイ時のトイレ誘導と成功時の称賛、保護者への説明(誘導時刻:10:00、13:00) ・ショートステイ7回実施 毎回誘導実施 説明は実施せず <継続> ・支援会議、情報交換時に3回実施<継続>
	学校生活	○○養護学校担任 △△△、○○○○ ・10:00、13:00のトイレ誘導と成功時の称賛、保護者への説明 ・時刻割カード(マーク、写真)による時間割の提示	・就学前の支援目標や内容、ポータブル乳幼児プログラムの指導内容、児童の様子について情報提供 ・毎日実施<継続> ・毎朝実施<継続>
		療育機関○○○ 担当者 ○○○	・就学前の支援目標や内容、児童の様子について情報提供 ・支援会議1回、情報交換2回<終了>
		○○保育園 保育士 ○○○○	・就学前の支援目標や内容、児童の様子について情報提供 ・情報交換2回<終了>
	医療・健康・相談		
評 価			
・保護者、学級担任による個別面談を4月に実施し、ニーズの聞き取りを行った。また、2月に同メンバーに本校コーディネーターが加わって評価のための個別面談を実施した。 ・5月16日に、○○保育園保育士と担任が情報交換を行った。 ・6月21日に、保護者、療育機関担当者、学級担任で支援会議を実施した。 ・7月13日に、保護者、○○地域生活支援コーディネーター、△△地域生活支援コーディネーター、本校コーディネーターで支援会議を行い、支援目標や支援内容について話し合いを行った。 ・2月18日に、保護者、○○地域生活支援コーディネーター、学級担任で支援会議を実施し、評価を行った。 ・支援機関からは、「具体的な支援場面や支援方法を共有できて良かった。自分たちの支援の効果も知ることができた」という話が聞かれた。 ・保護者からは「このような機会を設けてもらったことで、福祉施設に対して要望が伝えやすくなり、協力が得られて良かった。」「個別の教育支援計画があって安心した」という話が聞かれた。 ・2月の「個別の教育支援計画校内ケース会議」において、「排便自立に向けた医療や専門機関からの情報提供の必要性も視野に入れてはどうか」との助言があった。			
上記の情報を「○○施設」「△△施設」「療育機関○○○」「○○保育園」に開示することに同意いたします。			
平成 年 月 日		保護者氏名	印

(出典 全国特殊学校長会 『「個別の教育支援計画」策定・実施・評価の実際』 54頁 (平成18年))